平成28年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年５月13日

上 場 会 社 名	株式会社オウチーノ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6084	URL	http://www.o-uccino.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)井端　純一	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員	(氏名)村田　吉隆	(TEL)03(5402)6887
四半期報告書提出予定日	平成28年５月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成28年12月期第１四半期の連結業績（平成28年１月１日～平成28年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第１四半期	258	△19.4	△37	―	△37	―	△38	―
27年12月期第１四半期	320	―	△96	―	△96	―	△90	―

(注)　包括利益　　28年12月期第１四半期　　△38百万円（　―%）　27年12月期第１四半期　　△90百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
28年12月期第１四半期	△32.38	―
27年12月期第１四半期	△76.40	―

(注)１．平成28年12月期第１四半期及び平成27年12月期第１四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。
２．平成27年12月期第１四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年12月期第１四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第１四半期	1,210	760	62.5
27年12月期	1,302	798	61.0

(参考)自己資本　　28年12月期第１四半期　　756百万円　　27年12月期　　795百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
27年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
28年12月期	―				
28年12月期(予想)		―	―	―	―

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成28年12月期の連結業績予想（平成28年１月１日～平成28年12月31日）

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想が困難であるため、記載しておりません。なお、当該理由等は添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　ー社 、除外　ー社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）
②　期末自己株式数
③　期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期１Ｑ	1,288,500株	27年12月期	1,288,500株
28年12月期１Ｑ	100,000株	27年12月期	100,000株
28年12月期１Ｑ	1,188,500株	27年12月期１Ｑ	1,188,109株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部、景気に弱含みもみられましたが、全体としては緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国経済の先行き懸念やアジア新興国等の経済減速などもあり、景気の下押しリスクには一層留意が必要となっています。

当社グループが運営するポータルサイト「O-uccino（オウチーノ)」の事業ドメインである住宅・不動産業界では、物件価格の値上がりと契約率の縮小傾向が顕著となりました。新築マンションは東京オリンピック特需に伴う職人不足による建設コストの上昇が見られ、また中古マンションは物件価格の上昇を好機と捉えた所有者が高値で売り出すなど、総じて物件価格を引き上げることとなりました。結果、買い手にとっては物件価格の割高感が強く、購買意欲が高まらなかったものと考えられます。

このような環境のもと、当社グループは、中期成長戦略“VISION 2017”（2015年から2017年）を策定し、「事業構造の転換」と「収益基盤の確立」に取り組んでまいりました。新規事業であるインバウンド・アウトバウンド事業及び医師・病院検索サイト「Dr.O-uccino（ドクター・オウチーノ)」の集客が順調に進捗する一方、中核事業である住宅・不動産関連ポータル事業は再成長のためのWebマーケティングの強化を持続的に実施しました。またブランド認知度の向上を目的としたプロモーション活動にも注力しました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は258,111千円（前年同期比19.4％減)、営業損失は37,203千円(前年同期は営業損失96,518千円)、経常損失は37,843千円（前年同期は経常損失96,446千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は38,480千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失90,769千円）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①住宅・不動産関連ポータル事業

当セグメントにおきましては、収益の再成長及び中期的な企業価値の向上を実現するためのWebマーケティングの強化策として、コンテンツの質・量の両面からの充実を図るとともに、SEO対策チームによるユーザーインターフェイスの改善、サイト運営を効率的に行うためのデータベース統合プロジェクトに着手しました。しかしながら、Webマーケティング強化策は実施計画の途上にあります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の住宅・不動産関連ポータル事業の売上高は164,947千円（前年同期比25.4％減)、セグメント損失は27,756千円（前年同期はセグメント損失96,226千円）となりました。

②インターネット広告代理事業

当セグメントにおきましては、インターネット広告にニーズのある中堅企業に対し、リスティング広告及びアドネットワーク広告等を提案することにより代理店手数料を獲得しております。インターネット広告代理業の競争環境の激化もあり、収益性向上のための効率化を推進してきましたが、更なる取扱い商品の拡充と運用体制の合理化を課題としております。

この結果、当第１四半期連結累計期間のインターネット広告代理事業の売上高は62,151千円（前年同期比33.5％減)、セグメント利益は856千円（前年同期比83.3％減） となりました。

③プロパティ事業

当セグメントにおきましては、連結子会社㈱スペースマゼランでの不動産購入・開発・販売等により構成されております。当社で取り扱う投資用賃貸物件等の仕入、建築計画が順調に進捗し、第２四半期以後の売上確保に向けた販売活動に注力しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間のプロパティ事業の売上高は13,600千円（前年同期は売上高100千円)、セグメント利益は2,012千円（前年同期はセグメント損失2,163千円）となりました。

④その他

当セグメントにおきましては、海外の富裕層に日本の不動産を紹介するインバウンド事業、国内の投資家に海外不動産を紹介するアウトバウンド事業、また全国の医師・病院の検索・クチコミの医療系ポータルサイト「Dr.O-uccino」の運営等により構成されています。 インバウンド事業では、台湾における協業ビジネスの基盤固めとして常時集客を可能とする常設サロンの４月オープンに向けた準備をパートナー企業と進めるとともに、ア

ウトバウンド事業では海外不動産ポータルサイトを通じたWeb集客の強化や当社主催による大規模イベント「海外不動産フェア2016」の開催により国内の投資家を多数招致するなど、積極的に取り組んでおります。

この結果、その他の売上高は17,454千円（前年同期比217.2％増）、セグメント損失は12,420千円（前年同期はセグメント損失3,350千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は1,210,126千円となり、前連結会計年度末に比べ92,633千円減少しました。

主な要因は、現金及び預金の減少263,239千円、売掛金の減少32,950千円、販売用不動産の増加146,226千円、前渡金の増加38,740千円であります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は449,774千円となり、前連結会計年度末に比べ54,115千円減少しました。

主な要因は、買掛金の減少38,618千円、未払法人税等の減少26,696千円であります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は760,351千円となり、前連結会計年度末に比べ38,518千円減少しました。

その要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少38,480千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、連結子会社㈱スペースマゼランでのプロパティ事業を始めとして複数の新規事業が成長段階にあります。その進捗により業績が変動する可能性が高く、現時点での合理的な算定が困難であることから、業績予想の開示を見合わせております。今後の進捗等を踏まえ、合理的な算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年１月１日　至　平成28年３月31日）
（税金費用） 税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を、当第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,263	504,023
売掛金	159,708	126,758
販売用不動産	100,598	246,825
貯蔵品	1,146	1,043
前払費用	17,616	14,288
前渡金	165,340	204,080
短期貸付金	8,500	17,000
未収入金	2,732	10
その他	4,433	12,229
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	1,227,140	1,126,059
固定資産		
有形固定資産	20,894	20,041
無形固定資産		
商標権	1,159	1,108
ソフトウエア	9,810	9,026
その他	1,042	983
無形固定資産合計	12,012	11,117
投資その他の資産	42,712	52,906
固定資産合計	75,619	84,066
資産合計	1,302,759	1,210,126
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,081	9,463
未払金	34,370	38,445
未払費用	31,232	42,149
短期借入金	300,000	300,000
未払消費税等	21,703	7,647
前受金	18,314	26,201
未払法人税等	26,799	103
預り金	13,784	11,008
賞与引当金	7,085	12,190
その他	2,517	2,565
流動負債合計	503,890	449,774
負債合計	503,890	449,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,293	395,293
資本剰余金	385,293	385,293
利益剰余金	255,628	217,148
自己株式	△241,159	△241,159
株主資本合計	795,057	756,576
新株予約権	3,812	3,775
純資産合計	798,869	760,351
負債純資産合計	1,302,759	1,210,126

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成27年１月１日 至 平成27年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成28年１月１日 至 平成28年３月31日）
売上高	320,174	258,111
売上原価	121,615	97,740
売上総利益	198,558	160,370
販売費及び一般管理費	295,077	197,574
営業損失（△）	△96,518	△37,203
営業外収益		
受取利息	74	146
その他	26	58
営業外収益合計	101	205
営業外費用		
支払利息	－	827
株式交付費	29	－
その他	0	16
営業外費用合計	29	844
経常損失（△）	△96,446	△37,843
特別利益		
新株予約権戻入益	－	37
特別利益合計	－	37
税金等調整前四半期純損失（△）	△96,446	△37,805
法人税等	△5,677	675
四半期純損失（△）	△90,769	△38,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△90,769	△38,480

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成27年１月１日 至 平成27年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成28年１月１日 至 平成28年３月31日）
四半期純損失（△）	△90,769	△38,480
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	△90,769	△38,480
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,769	△38,480
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成27年１月１日　至　平成27年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:千円）

	報告セグメント					調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	住宅・不動産関連ポータル事業	インターネット広告代理事業	プロパティ事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	221,060	93,511	100	5,502	320,174	―	320,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	―	―	―	24	△24	―
計	221,084	93,511	100	5,502	320,198	△24	320,174
セグメント利益又は損失（△）(注)2	△96,226	5,117	△2,163	△3,350	△96,622	105	△96,518

(注)１．セグメント利益又は損失（△）の調整額105千円はセグメント間取引消去105千円であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成28年１月１日　至　平成28年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:千円）

	報告セグメント					調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	住宅・不動産関連ポータル事業	インターネット広告代理事業	プロパティ事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	164,904	62,151	13,600	17,454	258,111	―	258,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	―	―	―	43	△43	―
計	164,947	62,151	13,600	17,454	258,154	△43	258,111
セグメント利益又は損失（△）(注)2	△27,756	856	2,012	△12,420	△37,308	105	△37,203

(注)１．セグメント利益又は損失（△）の調整額105千円はセグメント間取引消去105千円であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「プロパティ事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。